

広報くじ

2012
月1日号
No. 140

思い一つに

県内外のデザイナーや写真家などの有志が、復興に向かう被災地の姿を撮影し、全国に支援を呼び掛けている「復興の狼煙ボムターフプロジェクト」。12月18日、二子朝市が開かれた玉の湯漁港で、久慈市撮影会が行われました。多くの思いや願いが一つに。参加者は、復興に向けたそれぞれの思いや願いを胸に写真に納まっています。



平成24年 復興祈願

P2-3

再起へ邁進

P4-9

新春座談会

リアス・ハイウェイ早期実現久慈大会
P12

平成 24 年

復興祈願

東日本大震災から徐々に笑顔を取り戻してきた日本。平成 24 年、さらに復興が進み、まちに笑顔が広がることを全国の人たちも願っていることでしょう。今年は「たつ年」。小学校 5 年生は年男年女を迎える年代です。今回は沿岸部の小学校 5 年生に、新年の抱負や、今後のまちへの希望などを伺いました。さあ皆さん、今年も気持ちを一つにして力を合わせ、昇り竜のように復興に向かって突き進んでいきましょう！



笑顔がいっぱいの一年に！！

元気いっぱい笑顔を広げる長内小学校（左）と久慈湊小学校の5年生の皆さん



平成24年
新春座談会

再起

へ邁進

東日本大震災の甚大な被害から、多くの人の奮闘と支援によって生活や産業などの立て直しが進んできた久慈市。私たちは心と力の一つにし、支え合いながら、平成24年も復興に向けて、突き進んでいかなければなりません。

今年の新春座談会のテーマは「再起」です。被害から立ち上がり、前に進み続ける5人が語った意気込みと海への思い。これからも海とともに。その強い思いを、ぜひ皆さんにも感じていただければと思います。(9ページまで)

対談者



力強い歩み

■市長 日常の生活だけでなく、尊い命までも一瞬にして奪い去った東日本大震災。当市も300億円を超える甚大な被害に見舞われました。犠牲者や遺族の方々の心情を考えると心が痛む思いです。

そんな中、全国、世界からも多くの支援が寄せられ、被災された方々も強い気概を持って前に進んでいることは、大変心強いことです。現在、市では7月22日に策定した復興計画に基づく実施計画の策定を進めています。被災した方々の不安を取り除き、一日でも早く復旧・復興を実現するために努力してまいります。本日は、復旧・復興に向け、懸命に取り組んでいる方々にお集まりいただきました。まずは、どのような考えに立ち、再起への歩みを進めたのかをお聞かせください。

■嵯峨参事 被害は漁協全体で70億円以上。各漁業生産部では漁港、荷さばき施設などに壊滅的な被害を受けました。



早期再開を果たしたマルサ嵯峨商店の第一工場

船も全体の9割以上を失い、当初、回復には早くても3〜5年かかると思いました。復旧に向け、漁協がまず考えたのは、組合員約10200人の組合離れを食い止めることです。復旧には漁を再開するための船を確保し、漁業者に立ち上がってもらうことが先決と考え、どこよりも早く船の発注に動きました。そんな中、漁業者のやる気はものすごく、震災直後から自ら他県などを回って中古船を探していました。その姿からは圧倒されるほど強い、立ち上がる意識を感じました。

■嵯峨社長 3月12日、唯一残った第一工場に全社員を集め、「必ず会社を復旧・復興させる。何とか耐え、7月1日に帰ってきてほしい」とお願いしました。しかし全てが流され、商品すらありません。迷いましたが、「ここで諦めるのは嵯峨らしくない」と考え、前に進む決意をしました。被災した県内の同業者の中には、市町村の土地利用方針が決まらず、なかなか再建に踏み込めなかった会社もあります。しかし久慈市は自ら方針を定めて、いち早くがれき撤去を進め、同じ場所ですら再発することも認めていただきました。これが当社がいち早く立ち上がった要因です。

■東社長 平成18年に久慈市に残債等、乗り越えなければならぬ壁は厚く、高いものですが、多くの応援もいただき、頑張っているところです。

前に進む決意 諦めるのはらしくない



●さが・まさよし● 嵯峨マルサ嵯峨商店社長。高品質な水産加工品を全国に発信。復旧事業では同業者のまとめ役としてリーダーシップを発揮

に進出して以来、4回にわたって工場を増設し、雇用も拡大してきましたが、約70億円を投資した工場などは屋根や壁を残して全壊しました。ただ、当時は大きな受注が残っており、この受注をしっかりとこなすことで、震災で失ったものを取り戻せるという確信がありました。従業員のためにもやらなければいけない、再投資を決めました。

当社の機械類は納品まで半年かかるようなものがほとんどです。当面は機械がなくなってもできることを進めようと考え、震災直後は、社員半分が久慈に残ってがれき撤去、半分は八戸市の本社まで通ってもらい、雇用を維持しながら工場の立て直しを進めました。

全員で続ける決断 激励や応援が力に



●なかたいら・たけお●二子漁業生産部部長。漁業再生に向け、力強く地域をけん引。二子朝市や漁業体験など、交流活動にも力を注ぐ

■中平部長 津波の被害を目の当たりにし、ただただすごいなという思いでした。このままではいけないと思い、3月17日と19日に臨時総会を開き、そこで全員で漁業を続ける決断をしました。

その後すぐに地域総出でがれきなどの片付けに取り掛かったのですが、そのとき、水槽の中にアワビが2個、ナマコが1個残っていたんです。それを見た生産部員が「また朝市をやれということでないか」と言い、会議の中でも話題になりました。もちろんお客さんの期待に応えたいの思いもありましたが、これが一つのきっかけとなり、みんなでもまた朝市もやってみようということになったのです。

しかし漁も十分にできず、売り物もない状態。悩みに悩んだ末に思い切って、5月5日に朝市を開きました。不安もありましたが、お客さんからは、たくさんの激励の言葉をもらい、本当に、本当に感激しました。朝市開催に向けた市の応援も力になりました。本当にありがたかったです。



5月5日の二子朝市。大勢の人が訪れ大盛況

■久慈部長 津波によって周りの生産部はほぼ全ての船を失いましたが、ちょうど川津内では、しげに備えて船を道路まで上げていたため9割の船が残りました。

ただ、どこを見ても大変な状態です。自分たちの被害が一番軽いことから、人に頼るのではなく、まずは自分たちで立て直そうと考え、3月20日からがれきなどを片付け始め、材料なども持ち寄って復旧作業を進めました。

その後、船を出せるようになった段階で港内のテトラポットなどを市に引き揚げてもらいました。幸いウニ漁にも間に合い、徐々にタコ漁なども再開することができました。

回復は着実

■市長 再起に懸ける皆さんの強い思いに敬意を表します。特に大きな被害を受けた漁業ですが、震災後の水揚げはどのような状況でしょうか。

■嵯峨参事 魚市場は4月10日の開場予定でしたが、幸い油と氷が確保できたため、3

■市長 多くの企業が立地する沿岸部は産業振興と雇用の拠点でもあります。その中で水産加工業は漁業と密接に関わるものですが、現在の復旧状況を教えてください。

■嵯峨社長 残った第一工場の設備を早急に修理し、サケの加工を始めました。県内の同業者の中で最も早く再開し、努力した結果、稼働する工場が減ったにも関わらず、イクラの加工量は平成22年と同等です。社員は夜を徹して頑張ってくれました。これが必ずや今後の販路拡大などにつながると信じています。

状況は厳しいですが、年度末までに良い結果を出し、頑張ってくれた社員に伝えられればと思っています。



喜ぶ子どもたち 多くの魅力が海にある

●くじ・ひでお●川津内前浜漁業生産部部長。地域の漁業をけん引。民泊や漁業体験の受け入れについてもリーダーシップを発揮する

月30日に前倒ししました。最初は5隻程度の操業でしたが、4月に入ると20〜30隻に。水揚げにも恵まれ、良いスタートを切る事ができました。

その後、函館義援船のおかげで6月下旬からはウニ漁も再開。定置網漁も大半が11月までに再開できました。サケの水揚げは平成22年度の約8割と少なくなっていますが、イカ漁では外来船、サンマ漁では大手量販店からの支援もあり、例年以上の水揚げがありました。

11月末現在の全体の水揚げは数量1万トン、金額22億円で、前年度並みです。大きな被害を受ける中、漁業者が頑張り、それに価格も応えてくれたのかなと考えています。



水揚げ回復、工場再開 これが復興のスタート

●さが・まつお●久慈市漁業協同組合参事。漁業再生に向け各生産部と共に奮闘。再開した食品工場、冷凍工場の操業アップも目指す

ら一部稼働を始め、生産に取り掛かりました。工場の立て直しに当たっては、津波から機材を守るため、全機材の配置換えを行い、特に高価な機材は新工場に備え付けることにしました。

土台をかさ上げし、12月に完成した新工場は、今回の津波でもぎりぎり防げる計算です。生産能力もアップし、雇用も30人ほど増やしています。

広がる交流

■市長 復興には、内外の人たちとの交流活動も必要と考えています。待浜町では10月に海での体験や民泊を受け入れましたが、子どもたちの反



地域が一丸となり実現させた10月のツアー。サップ船での遊覧体験に子どもたちは大興奮

応などをお聞かせください。**■久慈部長** 平成22年に葛巻町の子どもたちを受け入れたのに続き、大変な状況ではありましたが、10月に地元の待浜小学校の6年生を地域で協力して受け入れました。

沖から地元を見るのは初めての子どもが多かったようで、特にサップ船の遊覧は喜ばれました。その後も海水プールでは魚のつかみどりをし、民泊では子どもたちも魚をさばいたり、料理などをしました。手を叩いて喜ぶ子どもたちの生き生きとした表情が印象的です。海にもたくさん魅力があり、スタツフもいます。今年は山だけでなく海にも教育旅行などのお客さんを連れてきてもらいたいですね。

■市長 子どもたちを感動させる海の魅力。他の地域から来た子どもたちにはもつと大きな感動を与えるのではないかな。市も一懸命取り組んでいますので、地元でもいろいろ工夫を凝らしてもらえばありがたいと思います。次に二子朝市ですが、一年間を振り返ったとき、どんな思いがありますか。



漁業者の奮闘と全国からの支援により、回復を見せる久慈港の水揚げ量



漁業者の大きな収入源となるアワビやウニ。今後つくり育てる漁業の展開が求められます

再起に邁進する皆さんの思い 市も全力で取り組みを進めます



■市長 私たちにとつて期待できるお話をいただきました。津波により大きな被害を受けてしまいました。私たちは海とともに生きていかなければならない宿命があると考えています。結びに、それぞれの立場から海への思いをお聞かせください。

■東社長 昔から海は怖いという認識を持っていましたが、今回を考えると微々たるものでした。ただ私たちは海がなければ成り立たない業種です。この先、海がなくなることもないでしょうし、次、同じような津波がきても何とかしていかねければなりません。そのためにも湾口防波堤の整備などを早く進めてほしいです。そうすれば我々も安心

今後も海と

地域で資源量を把握し、調整することが必要だと思えます。津波によって人以外、全て流された中で頑張ってきました。船や施設の次は資源の確保について、何とかやっつけなければと思っています。

意気は強く

■市長 海の中の状況を一番分かっているのは漁業者の方々。その情報を漁協や行政も共有し、共に資源の回復について考え、漁業再生に向け頑張っていきたいと思えます。それでは次に、新年にあたり漁協、水産加工業としての意気込みをお聞かせください。

■嵯峨参事 各漁港などの施設や、一部の加工業者など、まだ復旧まで至っていないところもあります。魚市場の機能を果たしていくには、漁業者や加工業者と共に立ち上がっていく必要があります。各漁業生産部や加工業者と一緒に頑張って、今後も復興に向けて突き進みたいと思っていますので、市にも頑張ってもらいたいと思います。



防災面も強化された北日本造船の新工場

■嵯峨社長 3月末を目標に復旧・復興をさらに進めたいと考えています。

被災した久慈管内の19社を代表し、国に補助申請した際、同業者で力を合わせ、地域のものを使った商品開発を約束しました。これまではライバル同士でしたが、今度はぜひ協力して新しい取り組みを進めたいと思っています。

近年、食の安全・安心への関心と、地元の魚への評価が高まり、地元の魚にこだわって生きてきたことが間違いではなかったと思っています。これからも地元こだわりの頑張りしていきたいと思えます。

■市長 東社長は世界の経済動向も見据えながら、受注に世界を東奔西走しております

して、これからも事業を進めていけると思っています。

■嵯峨参事 海は好きだし、海がない生活は考えられませんが、今回、海の恐ろしさを痛感させられました。これからも海と仲良く付き合っていきたいと思えます。

■嵯峨社長 津波で壊滅的な被害を受けましたが、その後海の恵みがあったからこそ、十分ではなくとも会社を経営し社員を再雇用し、生きることができました。やはり海はありがたいものだと思います。地域の皆さんにも海への関心と愛着をより深めてもらえればありがたいです。海への思いが広がれば、さらに活気を取り戻せると思えます。

■久慈部長 今後の水産資源の状況など、先行きが不安な面も確かにありますが、これからも地域みんなで頑張っていきたいと思えます。みんなです事故なく、海で働き続けられることを願っています。

■中平部長 地域には、宝の山のような二子の海のおかげで生きてこれたと言う人がいます。私たち漁業者は海がなければ生きていけないという

が、事業の今後の見直しなどをお聞かせください。

■東社長 新工場のために新しく用地を取得し、久慈工場は12万㎡になりました。

世界経済の低迷と円高で、近年、海外からの受注は難しくなっていますが、船の燃料である原油価格の高騰に対応し、現在、少ない燃料で動かせる省エネ船型の開発に力を注いでいます。省エネを図ると船型は大きくなる傾向があり、近い将来、造船所やドックを拡張する必要があると考えていますが、それを見据えたのが広い久慈工場です。

久慈工場には拡張の余地があり、その力が発揮されるときがくれば、さらに雇用も増やせると考えています。



海なければ成り立たない これから海で事業を

●ひがし・とおる●北日本造船社長。世界の経済情勢を注視し、先を見据えた事業を展開。地域の雇用、産業活性化にも大きく貢献

終了後、表情を緩ませる対談者。このような笑顔が広がる一年になることを願わずにいられません





発射直前のロケットにドキドキ

科学の力に目輝く

身近な材料を使ったおもちゃで科学の力を学ぶ「科学のお祭り」は11月23日、久喜小学校で開かれました。

同祭りは東京都の災害支援ボランティア団体「いまここを生きる」が企画。子どもたちは、大学教授などの指導の下、風で力強く明かりがつく装置や、ペットボトルのロケット作りなどに挑戦しました。

坂本陽ちゃん(久喜小3年)は「物を飛ばしたり、くっつける、空気や水の力にビックリ!またやりたいです!」と目を輝かせていました。



人の温かさで科学の不思議に笑顔



ジャンケンゲームで大盛り上がり!

運動で楽しさと夢を

健康イベント・ファミリーゲームズ(日本アスリート会議など主催)は12月10日、市民体育館で開催。親子など約60人が、総合格闘技の大山駿護選手、キックボクシングの石川直生選手、ボクシングの西澤ヨシノリ選手と運動を取り入れたゲームを楽しみました。終了後は西澤選手が講演。子どもたちに夢と勇気の大切さを伝えました。

東日本大震災関係 INFORMATION

土地や家屋 固定資産税を減額する特例措置があります

☎税務課 ☎ 52 - 2114

東日本大震災で被災し、代わりの土地や家屋を取得した場合などは、固定資産税が減額になります。また、原子力災害の警戒区域内となったため、代わりの土地や家屋を取得した

場合も減額になります。これらの特例には一定の要件があります。適用を受けるには申告が必要な場合もありますので、詳しくはお問い合わせください。

1. 東日本大震災の地震・津波被害に対する特例

適用されるもの	特例の内容など	申告
被災した住宅用地	被災し、住宅が建っていない場合でも住宅用地とみなして課税標準額を200㎡までは1/6、200㎡超は1/3に減額します。 ▶適用期間…平成24～33年度	不要
被災し、代わりに取得した土地 ■平成33年3月31日までに取得した場合	被災した元の土地に相当する分について、住宅が建っていないでも住宅用地とみなして税額を減額します。(※) ▶適用期間…土地を取得してから3年度分	必要 ※り災証明書なども必要です
被災し、代わりに取得した家屋 ■平成33年3月31日までに取得した場合	被災した元の家屋の床面積に相当する分について税額を減額します。(※) ▶適用期間と減額の割合…家屋を取得してから①4年度分は1/2 ②その後2年度分は2/3に減額	必要 ※り災証明書なども必要です
被災し、代わりに取得(改良)した償却資産 ■平成28年3月31日までに一定の被災地域内で取得(改良)した場合	被災した元の償却資産(機械、特殊自動車など)に代わるものについて課税標準額を減額します。 ▶適用期間と減額の割合…償却資産を取得してから4年度分は1/2に減額	必要

※市外で被災した人が、久慈市内に土地や家屋を取得する場合も対象になります

2. 原子力災害による警戒区域内に対する特例

適用されるもの	特例の内容など	申告
代わりに取得した土地 ■警戒区域が解除されるまでに取得した場合	警戒区域内にある土地に相当する分について、住宅用地とみなして税額を減額します。(※) ▶適用期間…土地を取得してから3年度分	必要 ※り災証明書なども必要です
代わりに取得した家屋 ■警戒区域が解除されるまでに取得した場合	警戒区域内にある家屋の床面積に相当する分について税額を減額します。(※) ▶適用期間と減額の割合…家屋を取得してから①4年度分は1/2 ②その後2年度分は2/3に減額	必要 ※り災証明書なども必要です

※市外で被災した人が、久慈市内に土地や家屋を取得する場合も対象になります

固定資産税 償却資産申告も忘れずに!

☎税務課 ☎ 52 - 2114

平成24年1月1日現在で、市内に事業用の償却資産を所有している人は申告が必要です。インターネットを利用して行う電子申告システム「eLTA X」(詳しい内容はHPをご覧ください)でも申告できます。
▶申告期限…1月31日(火)

■東日本大震災で償却資産を失った場合も申告が必要です。申告しないと、そのまま課税される場合もありますのでご注意ください。

■居宅、物置、車庫などを取り壊した場合は、「家屋取壊届出」を税務課に提出してください。

11月11日～12月10日受付分

被災者への救援支援物資、義援金、市への寄付金

熱い支援に感謝

東日本大震災で大きな被害を受けた本市に、多くの救援支援物資や義援金、市への寄付金が、全国各地から寄せられました。11月11日～12月10日まで受け付けた分は次のとおりです。(敬称略) 熱い支援ありがとうございます。

救援支援物資

義援金

【振込】

- 岩手銀行久慈中央支店
- 普通預金 2057188
- 久慈市地震災害義援金

※入金前に下記まで連絡をお願いします
社会福祉課 ☎ 52 - 2119

【現金】
市役所で受け付け中

■**県外**

- 【東京都】 ▼公益財団法人国際開発救援財団 ▼日本赤十字社
- 【その他】 ▼匿名1件
- 県内**
- 【その他】 ▼匿名1件

寄付金

■**市内**

- 【企業・団体】 ▼アンバーホールケットセンター募金箱 ▼エルコリーヌ ▼上長内町内会 婦人部 ▼久慈高校長内校 ▼十八日町二十八日町子供会 ▼(有) 田村牧場たむら屋 ▼天神堂町内会 ▼ボランティアサークルホットタウン
- 【個人】 ▼渡邊光男
- 口座振替**
- 【個人】 ▼オオミナミ・サキコ ▼タテハタ・ユリ ▼ナカノ・ヒロシ ▼ヒライ・アツコ
- 【その他】 ▼匿名1件

■**県外**

- 【宮城県】 ▼東北港湾空港会
- 【群馬県】 ▼山口靖
- 【神奈川県】 ▼Asia J P
- ▼二交会
- 市内**
- 【団体】 ▼寺里町内会 ▼夏井こめ子クラブ

募集 **義援金で協力を**

市では、久慈市地震災害義

援金を募集しています。この義援金は、市内の被災した方々に分配されます。どうか皆様のご協力をお願いします。

▼**受付期間**
平成24年3月31日まで

▼**受付場所(現金)**

- ① 社会福祉課(市役所1階)
- ② 山形総合支所
- ③ 各支所(宇部、侍浜、山根)

▼**その他の受付方法**

- ① 現金書留:宛先はこちら 〒028-8030 久慈市川崎町1番1号 久慈市役所社会福祉課 ※表に「救助用郵便」と明記してください
- ② 口座振込:金融機関名や口座番号などは、上の枠「義援金」に表示してあります

※12月10日現在、久慈市に寄せられた義援金の合計は918件、7866万4755円です

☎ 52 - 2119



楽器と学生とふれあって笑顔に

心込めて音色とふれあい

弘前大学の学生と卒業生によるカンタービレオーケストラ演奏会は12月3日、アンバーホールで開かれました。音楽で復興支援をと、学生が企画した同演奏会は無料。心を含めた音色とふれあいで、約400人の観客を楽しませました。

クラシックやアニメの曲などを披露した後は、楽器ふれあいタイムも開催。学生らの指導の下、子どもたちはさまざまな楽器に挑戦し、目を輝かせていました。舛森咲羽ちゃん(久慈小3年)は「ヴァイオリンとか、初めて触ってドキドキワクワク。上手に音も出せて楽しかったです!」と満面に笑みを上げていました。

支援 TOPICS

- 1/あいさつする細田会長
- 2/写真を映し出して全国B-1での奮闘を報告
- 3/土俵入りに大盛り上がり

後援会員に久慈まめぶ部屋のメンバーを一人一人紹介

久慈まめぶ部屋後援会」設立総会



頑張りに応え一緒に

平成22年4月の発足以降、精力的な活動を展開し、23年11月には第6回全国B-1グランプリで全国に久慈市とまめぶ汁をPRした久慈まめぶ部屋（小笠原巨樹部屋頭）奮闘する同部屋を支援しようと、12月18日、「久慈まめぶ部屋後援会」が発足しました。同日、市内催事場で開かれた設立総会には約50人が出席。はじめに、発起人を代表して市観光物産協会の細田稔男会長が「まめぶ部屋の活動によるPR、経済効果は相当大きいと考えています。この頑張りに応え、さらに高みを目指して皆さんと一緒に応援していければと思います」と、あいさつ。議事では、活動内容などを定める会則が異議なく

まめぶ発信に力 後援会が発足

承認され、後援会会長には細田会長が選任されました。

支えを力に全国発信

総会後は会場を移し、同部屋の全国B-1報告会と、同部屋メンバーを交えての懇親会を開催。懇親会では、メンバーが感謝を込めて相撲甚句や土俵入りを披露して盛り上げ、後援会員は「活動を続け、全国に発信していこう」、「上を目指し共に頑張ろう」など、熱い言葉で激励しました。

小笠原部屋頭は「後援会設立は信じられない思いです。皆さんの思いを受け、一緒に頑張っていききたいと思えます」と決意を新たにしています。支えは力。久慈市の全国発信に向け、まめぶ部屋をみんなで応援していきましょう！

後援会 会員を募集中!!

久慈まめぶ部屋の活動支援を通じて久慈市の活性化を目指す「久慈まめぶ部屋後援会」。同後援会では随時、入会を受け付けています！

久慈市を元気にしたいという熱い思

いで奮闘するまめぶ部屋。「応援したい！」とお考えの方は、まずは事務局まで気軽にお問い合わせください。

- ▶年会費…①個人会員 5千円
- ②法人・団体会員 1万円

事務局・久慈市観光物産協会
☎ 66 - 9200



部屋マスコットキャラクター

- 1/受け付けなど高校生も活動
- 2/パネルディスカッション
- 3/北リアスみちづくり女性の会・大槻静子会長が決議を宣言

大会決議後、「ガンパロー」の声に合わせ、拳を突き上げる参加者



道路完成に向け 沿岸が団結!

1200人完成訴え

八戸市と仙台市を結ぶ高規格道路「三陸沿岸道路」の早期完成を訴えるリアス・ハイウェイ早期実現久慈大会と八戸・久慈自動車道整備促進住民大会は12月4日、アンバーホールで開催。八戸市から気仙沼市までの7市の市長や市民など、沿岸市町村から約1200人が参加しました。

はじめに主催者を代表し、山内隆文市長が「東日本大震災からの復興は入り口に立つたばかり。三陸沿岸道路をシンボルとして沿岸市町村が一つになり頑張っていきたいと思います」と力強く呼び掛けました。続いて沿岸7市の市長などが復興をテーマにパネルディスカッションを実施。各市長の訴えに対し、東日本大震災

復興対策本部の津川祥吾手現地対策本部長は「三陸沿岸道路は生活道にと考えています。三陸の良さを生かし、全国モデルになるようなまちづくりを一緒に進めていきたいと思います」と述べました。最後は、三陸沿岸道路の早期完成を国に要望する大会決議を宣言し、ガンパローを三唱。参加者全員で拳を高く突き上げ、一致団結しました。

これからも力合わせ

国では三陸沿岸道路を、重点的に整備する復興道路に位置づけ、一部整備を開始。被災地間の連携を促し、早期復興に向けて、7年程度での全線開通を目指しています。一日も早い復興と、道路の完成に向けて、これからも力を合わせていきましょう。

沿岸7市長 復興へ思い一つ



気仙沼市 菅原 茂 市長
陸前高田市 戸羽 太 市長
大船渡市 戸田公明 市長
釜石市 野田武則 市長
宮古市 山本正徳 市長
久慈市 山内隆文 市長
八戸市 小林 眞 市長

沿岸7市長はパネルディスカッションで、復興に懸ける決意や現在の課題などを発言。7市の復興に懸ける思いは一つ。三陸沿岸はこれからも団結して前に進みます。

表彰

東日本大震災への対応や、食品衛生、社会福祉の各分野で、次の方々が国から表彰されました



小学校高学年の部の表彰で、賞状を受ける古屋敷琴乃さん



活動の充実に最新車両

12月9日、消防車両交付式が防災センターで開かれ、市から消防団第12分団に消防ポンプ自動車1台が交付されました。さらなる活動充実に後押しする最新車両。団員は早速、車両の装備などを確認し、意識を高めていました。

東日本大震災の切迫した状況の中、迅速な水門閉鎖に避難誘導、人命救助や行方不明者の捜索など、積極果敢に活動した市消防団（門ノ澤正浪団長）。市民の命を守り、

震災時の積極果敢な活動評価 総務大臣表彰

久慈市消防団

（門ノ澤正浪団長・写真中央）

被害の軽減に努めた功労が高く評価され、同団に総務大臣表彰が贈られました。11月24日は、門ノ澤団長など3人が市役所を訪れ、山内隆文市長に受賞を報告。山内市長は、日ごろの努力と活動もたたえ、「一致団結して今後も活動を進めていって下さい」と期待しました。門ノ澤団長は「市民の命と財産を守るため、今後も一層訓練に努め、精進していきます」と、決意を新たにしてい

共同募金運動に貢献 厚生労働大臣表彰



古山 宗司さん（宇部町）

驚きの受賞です。本当に感謝しています。地域の活動の一つとして、30年以上、共同募金運動に取り組んできました。長年活動を続けてこられたのは、協力してくれる皆さんと、健康のおかげです。これからも体力の続く限り、社会福祉の向上に協力していきたいと思ひます。

食品衛生活動に尽力 厚生労働大臣表彰



佐々木 明さん（本町）

受賞は本当にありがたいこと。食品衛生協会の一員として長年、活動してきました。食品の製造販売に携わる者にとって衛生管理は大事なことです。皆で管理を徹底し、今後も食の安心・安全を消費者の皆さんに届けていきたいと思ひます。（県食品衛生協会久慈支会・常任専務理事）

第6回市読書感想文コンクール表彰式は12月3日、中央公民館で開催。各部門の入賞者に賞状などが贈られました。

「本当の友だち」と題した感想文で、小学校低学年の部の最優秀賞に選ばれた宇名澤日向くん（夏井小2年）は「友達はお金で買えないことなどを本から学びました。友達を大切にしたいです」と話していました。

各部門の受賞者

受賞者は敬称略。各部門の①は最優秀賞、②は優秀賞、③は奨励賞です。

■小学校低学年の部

- ①宇名澤日向（夏井小2年）
- ②佐々木愛惟（久慈小1年）
- ③類瀬七海（山形小2年）

■小学校中学年の部

- ①佐々木晃誠（久慈小4年）
- ②中川紗希（小袖小4年）
- ③田村優奈（侍浜小4年）

■小学校高学年の部

- ①古屋敷琴乃（平山小6年）
- ②小袖菜津実（長内小6年）
- ③松浦圭歩（久慈湊小6年）

■中学校の部

- ①赤平悠実（宇部中2年）
- ②猿舘梧楼（山根中2年）
- ③佐々木裕佳（久慈中3年）

■高校の部

- ①山口しおり（久慈高2年）
- ②瀬川桜花（久慈高1年）
- ③新山実乃梨（久慈高2年）

本年度の県交通安全ポスターコンクール・中学校の部で、舛森聖風さん（宇部中3年）が最優秀賞、障子上甲斐くん（山根中2年）と中田千尋さん（夏井中3年）が優秀賞を獲得。市内

中学生が、県の上位を独占するという快挙を達成しました。11月17日には、主催者である県を代表し、佐々木宏県民生活安全課長などが宇部中学校を訪問。佐々木課長は舛森さんに賞状を伝達し、「これ

からも正しい交通マナーを身に付けて、交通ルールを守る大人になってください」と期待の言葉をおくりました。作品の制作指導は、市内中学校4校の美術を受け持つ関本春香先生が担当。生徒は放課後や帰宅後の時間を費やし、懸命に制作に取り組みました。結果は生徒の意欲と努力、そして交通安全を願う気持ちの表れ。私たちも交通ルールをしっかりと守っていきましょう。



■優秀賞
中田千尋さん
（夏井中3年）

みんなが事故なく幸せに暮らせるようにと願いを込めました。子どもや高齢者にも、やさしい交通環境になってほしいです。



■優秀賞
障子上甲斐くん
（山根中2年）

自分自身と周りの人まで危険にする飲酒運転。事故後の車を描いて危険性を訴えました。飲酒運転は絶対にやめてほしいです！



■最優秀賞
舛森聖風さん
（宇部中3年）

テレビなどで交通事故を見たとき、「シートベルトを締めていれば助かったのでは」と思っていました。シートベルトは命綱。乗ったら締めるという当たり前のことを、面倒がらずやってほしいです。



気持ち忘れないで

3人を指導した
関本春香先生

私もとてもうれしいです。入賞した生徒に限らず、美術が好きな生徒が多いと感じています。制作することの楽しさや、制作が好きという気持ちを忘れないでほしいですね。

岩手県交通安全ポスターコンクール 市内中学生が上位独占 最優秀賞に舛森聖風さん

（宇部中3年）



シートベルト着用を訴える舛森さんの作品

いわて秋さけ料理コンクール 工夫と努力で高評価 高校生3人が入賞



大下さんの「鮭とりんごの琥珀色のファールトン」

第25回いわて・秋さけ料理コンクールは11月8日、盛岡市で開催。焼き菓子「鮭とりんごの琥珀色のファールトン」を作った大下久実さん（久慈東高2年）が2位にあたる県教育長賞、

大沢睦さん（同）と浜坂歩夢さん（久慈工業2年・久慈中卒）も優良賞に入賞しました。工夫と努力を積み重ね、獲得した高評価。浜坂さんは県の牛乳乳製品料理コンクールでも優良賞に輝きました。

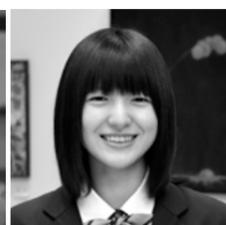


■優良賞
浜坂歩夢さん
（久慈工業2年・久慈中卒）

味も、見た目の色にもこだわって工夫しました。簡単に作られて体も温まる料理なので、仮設住宅の入居者の方にも知ってほしいです。

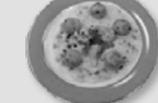


「簡単!! 秋さけたっぷりサケたま」

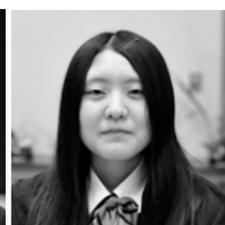


■優良賞
大沢 睦さん
（久慈東高2年）

サケの味を生かせるまめぶを作るのが大変でした。素材の意外性なども発見できて、今回は良い経験。これからも頑張ります。



「鮭とまめぶニョッキのクリーム仕立て☆」



■岩手県教育長賞
大下久実さん
（久慈東高2年）

本当にうれしい！サケを使う量や合わせる材料を工夫しました。今回、他の参加者を見て、いろいろな料理の方法があるのが分かりました。勉強を重ね、これからも料理を作っていきたいです。

※入賞作品のレシピは「岩手県漁連ホームページ」に掲載されています

申請はお済み
ですか？
子ども手当

平成23年10月～3月分
の子ども手当を受給するに
は申請が必要です。忘れず
に申請してください。

手当の支給時期

支給時期	内訳
2月	平成23年10月～ 1月の4カ月分
6月	2月と3月 の2カ月分

■2月に手当を受給するには1
月13日(金)までに申請が必要
です。それ以降に申請を受けた
分は、6月の支給になります

申請方法

必要書類を添え、市役所
1階・子育て支援課に申請
してください。(山形町の
人は山形総合支所でも可)

- ▶**必要書類**…①印鑑②請求
書(お知らせに同封)③
受給者本人と対象になる
子どもの健康被保険者証
(コピー可)④手当振込
先の通帳(銀行名・支店
名・口座名義・番号が分
かる部分のコピー可)

▶**申込期限**…3月31日

☎子育て支援課 ☎ 52-2169

**震災復興支援
コンサート**

両コンサートとも無料。整
理券はアンバーホール、おら
ほーるなどで配布中です。

【**子ども向け**】**ローム・被
災地支援コンサート**

▶**日時**…1月21日(土)・
22日(日)13時30分開演
▶**会場**…アンバーホール
※22日は未就学児も入場可

【**大人向け**】**三井住友海上
文化財団復興支援コンサート**

▶**日時**…1月29日(日)
12時開演
▶**会場**…アンバーホール
▶**託児**…1歳～小学3年生、
先着12人。申し込みは1
月22日(日)までに下記へ

☎アンバーホール ☎ 52-2700

平成24年度の
申し込みだよ！



保育所の入所申し込み

☎子育て支援課 ☎ 52 - 2169

申し込みは1月中
保育所(園)は、保護者や
同居の親族が働いていたり、
病気などのため保育できない
ときに、保護者に代わって児
童を保育する、最も身近な子
育て支援施設です。
平成24年4月1日からの保
育所への入所申し込みの受け
付けを開始します。入所を希
望する人は、次により申し込
みください。
入所申込書などの書類や入
所案内は、各保育園と子育て
支援課(市役所1階)で配布
します。各保育園などの情報
は市ホームページにも掲載し
てありますので、どうぞご覧
ください。

- ▼**受付期間**
1月5日(木)～31日(火)
- ▼**申込先**
入所第一希望の保育園
※入所希望が市外の保育園の
人は、お早めに子育て支援
課に申し込みください
- ▼**提出書類**
①入所申込書
②就労証明書 など
- ▼**新規希望は面接も**
平成24年度から新たに保育
所への入所を希望する人には
面接があります。
次の日程で入所面接を行
いますので、都合に合わせてお
越しください。
- ▼**面接日時**
2月6日(月)～10日(金)
9時～17時
※2月6日は18時30分まで
- ▼**面接会場**
子育て支援課

バレー元代表選手が久慈に!!

☎社会体育課 ☎ 52 - 2156



開催は2月19日!
あの選手がドリームチーム
のメンバーとして久慈に!
バレーボール元日本代表選
手のプレーが間近で見られる
「宝くじスポーツフェア」は
つらつまママさんバレーボール
in Kujii」を開催します。
同フェアでは、市内選抜チ
ームとのフレンドリーマツチ
のほか、サイン入りボールな
どが当たる抽選会も行います。
入場は無料ですが、下記によ
り配付する整理券が必要です。

▼**開催日時**
2月19日(日)
9時30分～15時

▼**開催会場**
久慈市民体育館

▼**【整理券の配付日と場所】**
1月16日(月)

▼**配付場所**
①市役所3階・社会体育課
②市民体育館
③第二体育館
④山形B&G海洋センター
⑤各地区の市立公民館

▼**予定メンバー**
ドリームチームの
予定メンバーは次の
とおりです。(敬称略)
◆河西昌枝◆森田淳
悟◆江上由美◆山下
美弥子◆植田辰哉◆
中西千枝子◆大林素
子◆ヨーコ・ゼッ
ターランド◆吉原知
子◆佐伯美香◆田中
姿子◆大山加奈



WELFARE **市社会福祉大会に150人が集う
支え合う地域社会の実現へ協働誓う**



受賞者
市長表彰受賞者と、福祉作
文コンクールの優秀作入選者
は次のとおり。(敬称略)

- 市長表彰**
○大石サキ子○山形地区更生
保護女性の会○夏井川堤の景
観を創る会○角柄老人クラブ
○瀧福市郎○吉田虎之助○内
久保証一
- 福祉作文コンクール**
○澤里 彬水 (宇部小3年)
○桜庭明日香 (長内小5年)
○上山 葉月 (宇部中3年)
○高田香名子 (久慈東高2年)



熱弁する渥美教授

続いて開かれた式典では、
山内隆文市長と市社会福祉協
議会の坂本治雄会長が、社会
福祉の発展に尽くしてきた人
や団体のほか、福祉作文コン
クールの入選者を表彰。最後
は大会宣言を出席者全員の大
きな拍手で承認し、共に支え
合い、助け合う社会の実現に
向けて、今後も協働してい
くことを誓いました。

市社会福祉大会は11月18日、
市総合福祉センターで開催。
東日本大震災を機に、人と人
とのつながりや支え合いの必
要性が高まる中、社会福祉関
係者約150人が一堂に会し、
団結しました。
記念講演では、「東日本大
震災と災害ボランティア」と
題し、大阪大学大学院の渥美
公秀教授が熱弁。「ボランティ
アはリレー。今回は過去に支
援を受けた人たちが東北を支
援してくれました」と述べ、
さらに「地域や近所との関係
が、防災や助け合いにつな
がります」と訴えました。



今後も協働していくことを誓った出席者

COMMUNITY **桑畑地区の漁業集落環境整備事業が完了
よりよい地域形成に向け感謝と決意**



桑畑地区の漁業集落排水処理場

事業の概要
人口約400人で、全世帯
の約7割が漁業を営む侍浜
町桑畑地区。排水施設や集
落道などを整備しました。

■**事業費** 16億5,000万円
■**工期** 平成15～23年度
■**工事内容**
○集落道8路線 5,994延
○飲雑用水2路線 1,035延
○漁業集落排水施設…排水
路、排水処理場など
○防災安全施設…防火水槽
4基、防犯灯5基



約100人が出席し、事業の完了を祝いました

桑田委員長が工事関係者に
感謝状を贈った後は、山内隆
文市長、県北広域振興局の松
岡博局長が祝辞を述べ、地域
の新たなスタートを祝福。式
典後の祝賀会では、地域のさ
らなる発展を願って威勢よく
乾杯し、最後は万歳三唱で締
めくくりました。

漁港や漁場の水質保全と、
地域の生活環境の向上を図る
ため、平成15年度にスタート
した桑畑地区漁業集落環境整
備事業が平成23年7月に完了。
9年間にわたる工事の完成を
祝い、11月26日、市内催事場
で竣工記念式典と祝賀会が開
かれました。
地域住民や行政、工事関係
者など、約100人が出席。



桑田実行委員長



広報リポーターの突撃取材!



フェスティバルで、かわいいダンスを披露する児童

感謝を表し
絆が強く

11月29日、大川目小学校の2年生16人は、日ごろお世話になっている地域の人たちを招待し、感謝状を手渡しました。児童は、感謝を表すフェスティバルも企画。ダンスの披露や、模擬店を開いて地域の人たちと交流を深め、さらに絆を強くしました。(小倉利之リポーター)



講師の指導の下、作業を進める参加者

和やか交流
しめ縄作り

高齢者講座・白樺大学の「しめ縄作り講習会」が12月16日、天神堂公民館で開かれました。市内各地区の老人クラブから53人が参加。和やかな雰囲気の中、参加者は交流・協力しながら家内安全と交通安全の2種類の正月飾りを完成させました。(梅沢政隆リポーター)

礼儀や心構えを熱血指導

市民剣道教室

市民剣道教室(市体育協会主催)は12月17日と18日、市民体育館で開催。被災地を支援しようと、NPO法人世界剣道武徳和心会(吉山満会長)が全面的に協力し、吉山会長をはじめ21人が指導にあたりました。

講師陣は、技だけでなく礼儀や心構えを熱血指導。小学生から一般まで約130人の参加者は、一つでも多く学び取ろうと、真剣な表情で稽古に励んでいました。

閉講式で吉山会長は「皆さんは今、生きています。感謝の心を持ち、毎日を大切にしていきましょう」とエール。中村海斗くん(三崎中2年)は「相手を敬うことの大切さを学びました。稽古も普段の生活も頑張っていきたいです」と力を込めていました。



講師を前に、熱のこもった稽古を繰り返す参加者



- 1/ドタバタを展開し、会場を沸かせた一場面
- 2/ゆげさんは美声を披露
- 3/震災時の水族館の生き物たちを表現した人形劇
- 4/絶妙な掛け合いの連続
- 5/終了後は誰もが笑顔に



笑い感動届けた熱演

第5回市民おらほーる劇場

第5回市民おらほーる劇場「水族館狂詩曲(アクアリウムラプソディ)」は11月27日、おらほーるで上演。出演者とスタッフは、熱のこもった演技と演出で、約400人の観客に笑い感動を届けました。

今回は、もぐらんぴあ・まちなか水族館を題材とした物語。再出発に向けて奮闘する個性的なスタッフや、被災地支援に訪れた子どもたち、一風変わった職人や外国人など、過去最多の30人が出演しました。本市出身の歌手ゆげみわこさんも登場し、劇中歌「海になりたい」を披露。笑いあり感動ありでテンポよく展開したステージは大盛り上がりで、最後は割れんばかりの拍手に包まれました。

作・演出のこむろこうじさんは「お客さんの反応も良好。地域が元気になるきっかけになれば」と笑顔。ギャグを連発するカメラマンを演じた江本英二さんは「震災もあったので少しでも元気を届けようと、みんなで頑張りました」と充実した表情を見せていました。

食べて学び深まる愛着

短角牛給食

地産地消ふれあい給食の日(短角牛)は11月29日、市内小・中学校で行われ、子どもたちが短角牛の味や特徴を学びました。給食会で、生産者の下館進さんから飼育方法なども学んだ小袖凜くん(小袖小4年)は「お肉の味がおいしい!今度は牛も見たいです」と愛着を深めていました。



短角牛のおいしさに満面の笑み



南極のペンギンや、オーロラなどの動画も披露

楽しく貴重な世界満喫

水族館で南極講演会

11月23日、もぐらんぴあ・まちなか水族館で「南極みつけた!講演会」が開催。親子など約50人が南極の世界を満喫しました。南極観測隊として、越冬も経験した朝日新聞社の中山由美さんが講師。中山さんは「南極は不思議で楽しく、貴重な場所。みんなで大切にしてほしい」と呼び掛けました。

医療の進歩に感嘆の声

講演で最新手術を紹介

国保久慈地区協議会の保健活動部会講演会は11月24日、福祉の村で開催。岩手医科大学の佐々木章准教授が「からだに優しい最新の手術」と題して、きずが小さく、体への負担も少ない内視鏡外科手術の特徴などを説明しました。約150人の参加者は、医療技術の進歩に感嘆の声をあげていました。



分かりやすく説明する佐々木准教授



久慈署の中村一雄署長にチラシを手渡す山王会長(左)

安全への願い込め制作

交通安全・防犯チラシ

久慈地区安全運転管理者事業主会(山王敏男会長)は関係団体と協力し、交通安全と防犯を呼び掛けるチラシ1万2千部を制作。11月30日、久慈警察署に交付しました。山王会長は「交通事故を防ぐには多くの協力が必要。運転手はもちろん歩行者にも意識が広がってほしいです」と願っていました。

思いやる大切さを訴え

一日人権擁護委員

県小学生人権書道コンテストで入賞した大川目小学校の室野美沙紀さん(6年)と、田端友賀さん(5年)、西澤友唯さん(同)が12月6日、一日人権擁護委員を務め、人を思いやる大切さを訴えました。3人は「友達を大切に。困った人がいたら声を掛けてあげたいです」と声をそろえていました。



街頭での啓発活動に、積極的に取り組む3人



夢中になって絵を描き進める児童

"好き"描き足して完成

スクールギャラリー作品

小学校を巡回して芸術作品を展示するスクールギャラリーツアー(久慈青年会議所主催)の展示記念作品制作が12月8日、平山小学校で行われました。作品のテーマは磁石。1~3年生約50人は花や動物、家族など、自分の好きなものを次々と紙に描き足して、かわいらしい絵を完成させました。

Child 子育て支援センターだより

行事予定

- 1/11(水) あそびの教室 終日
※対象児が決まっているため自由来所はできません
- 1/12(木) うさこちゃんの部屋 11:00～
- 1/12(木) 赤ちゃんサロン 13:30～15:30
※離乳食の試食会を行います
- 1/13(金) みずき団子作り 10:30～12:00
※申し込みが必要です
- 1/27(金) ひよこ教室 9:50～
※市役所正面玄関に集合ください
- 1/30(月) あそびの教室 終日
※対象児が決まっているため自由来所はできません

利用案内

- 子育て支援センター
☎52-3210
- 対象…未就学児と保護者
- 利用時間
①月～金 8時30分～17時
②土 8時30分～13時30分
- 休館日…土曜日の午後、日曜日、祝日
- 利用料…無料

オススメの声

出産で里帰り。初めて利用しましたが、雰囲気も良く、知り合いにも会えてビックリ。これから利用したいと思います。



駒木美沙子さんと長女のみさきちゃん

市の保健師、栄養士、看護師などが、健康に関する情報をお届けするコーナーです。皆さんの元気と健康づくりにお役立てください。

Health 元気応援だより



中塚健哉主任(社会福祉士)

見守りと声掛け
みんなの支えで
高齢者に安心を

☎地域包括支援センター
☎61-1557

「虐待」という言葉を聞いたとき、皆さんが真っ先に思い浮かぶのは、子どもではないでしょうか。でも実際は、高齢者や障がい者など、日常生活に支援が必要な人たちが虐待の対象になっています。特に高齢者は認知症の有無にかかわらず、加齢に伴う判断力や体力の低下により、被害の対象になってしまったり、被害の面があります。具体的には振り込め詐欺や悪質商法などの消費者トラブル、そして虐待などです。

ただ、普段からの声掛けや見守りなど、地域の皆さんの支えがあれば早期に発見できるため、このような被害を未然に防いだり、実際に被害が発生しても最小限に抑えることができます。高齢者に限らず、障がいがある人なども、いつまでも地域の一人として安心して暮らしていけるよう、みんなで支えていきませんか。また気になる高齢者がいましたら、地域包括支援センターへ相談をお願いします。

Human



女子サッカー岩手県北選抜の一員として活躍

東北大会のピッチで躍動
もっともっと上手になりたい

互いに認め合う実力

「選ばれたときはすごいうれしかったです！試合で県外の選手のプレーもすべて、良い経験になりました！」
そう声をそろえるのは、久慈F.C.に所属する高山桃さん(久慈小5年)と大矢内陽菜さん(大川目小4年)。女子サッカー岩手県北選抜U-12の一員として、10月と12月に開かれた東北大会に出場し、ピッチで躍動しました。

大矢内さんは4歳からサッカーの練習に励み、めきめきと上達。高山さんはフォワード、ポジションは異なりますが、「陽菜は大事どころで相手の攻めをカットしてくれます！」「桃ちゃんは体が強くて、試合でも頼りがいがあります」と、互いにその実力を認め合っています。

高にうれしいそうです。
意欲と好きは原動力
平成24年。新年に向けて、たつ年生まれの高山さんは「ドリブルや細かい動きを磨きたい！」、大矢内さんは「インステップキックが蹴れるようになりたい！」と抱負を語ります。
もともとと上手になりたい。意欲と好きという気持ち、努力につながる原動力。今年も2人は目を輝かせ、ボールを追いかけることでしょう。



高山 桃さん(久慈小5年・左)
大矢内 陽菜さん(大川目小4年・右)

Profile ●左/好きな科目は体育。英語の勉強にも取り組む。将来の夢は、サッカー女子日本代表選手
●右/好きな科目は算数。大川目ブラッサムズでミニバスにも励む。将来の夢はスポーツ選手

Books 図書館だより

《市立図書館》

「じゅうにしのおはなしめいろ」

奥野涼子/作
講談社

お正月、神様のお屋敷に向かう動物たち。お正月の風物詩や隠し絵がある楽しい迷路を通して、最初にお屋敷に到着するのは誰でしょう。十二支のお話と迷路を一緒に楽しめる絵本です。



《市立図書館 ☎53-4605》

- 開館時間…9時～19時(土日は17時まで)
- 1月の休館日…1(日)、2(月)、3(火)、10(火)、16(月)、23(月)、30(月)、31(火)
- 冬休みおすすめ本展…開催中～1/22(日)
- 図書館映画会…1/14(土)①10時～②15時～
- チビッコの部屋…絵本の読み聞かせを行います
①1/14(土)14時～②28(土)14時～

《山形図書館》

「社員と地域を幸せにする会社」

福島正伸/著
PHP研究所

この本には、東日本大震災からの復興に向けて全力で取り組み、社員を守りながら、地域を元気にしている東北地方の企業や組織が紹介されています。前向きな気持ちになれる一冊です。



《山形図書館 ☎72-3711》

- 開館時間…10時～18時
- 1月の休館日…1(日)、2(月)、3(火)、9(月)、10(火)、16(月)、23(月)、30(月)、31(火)
- えとの図書展…平成24年のえと「たつ」が登場する本を展示・貸し出し 1/5(木)～19(日)
- 巡回展・賢治資料展…郷土作家「宮澤賢治」に関する本を展示します 1/20(金)～29(日)

MY ★ Life ☎ Kuji



エリカ・ワードさん

あらためて感謝しています！

アメリカには11月のサンクスギビングデーや、12月のクリスマスなど、自然の恵みや周りの人たちに感謝する祝日があります。私も、ある施設に感謝の気持ちを伝えたいと思います。

それは郵便局です！日本に来てから、

郵便を扱ってくれる皆さんにあらためて感謝しています。私が海外に小包などを送るとき、笑顔で送る方法を調べたり、説明してくれる皆さん。寒さに負けず、1月は年賀状も届けてくれることでしょう。毎日頑張っている郵便局の皆さん、ありがとうございます！

市内の小・中学校で英語を教えている市の英語指導助手の皆さんが、久慈市で生活して感じたことなどを紹介するコーナーです。

夜を彩る かわいいサンタ

かわいらしいサンタの歌声と電飾が、街なかの夜を彩りました



上 進行役を務めた久慈高校長内校の
澤里佳恵さん（左）と植野郁美さん
中 3人で仲良くボタンを押して点灯
下 土風館周辺は青や白の電球で美しく

11月26日、やませ土風館周辺を約2万球のLED電球で彩る「街なかクリスマスイルミネーション」が始まりました。同日の点灯式には門前保育園ぞう組の23人と保護者など約70人が参加。夏は北限の海女クラブとして活躍した高校生2人の進行により、同園の関美里ちゃん、田表日和ちゃん、櫻澤正悟くんの3人がボタンを押して電球を点灯させました。点灯後は園児がハンドベルの演奏や合唱などを披露。園児のかわいらしい姿と美しい光景に参加者からは大きな拍手が沸き起こりました。点灯は3月11日まで。まちがより元気で明るくなるようにと願いを込め、17時から22時まで点灯されます。

もうクリスマス!

上手に発表ができてうれしい!きれいだし、サンタさんの服も着れて、もうクリスマスが来たみたい!



秋山幸太郎 くん
(門前保育園)

INTERVIEW

すっごくきれい!

寒かったけど、みんなと一緒に楽しかったです!ピカピカしてすっごくきれい。また遊びに来たいです!



宮澤 葵 ちゃん
(門前保育園)

元気を願い2万球

街なかクリスマスイルミネーション

1球だけある赤色の電球。見つけると願いがかなうというウワサも...



編集後記

▶平成24年のスタート。みんなの思いが一つになり、さらに前に進んでいければとの願いを込め、復興支援ポスター撮影会での集合写真を表紙にしました▶つらく、悲しいことが、あまりにも多過ぎた平成23年ですが、振り返ると、人の力強さや優しさが際立った年のようにも感じます▶震災の被害を乗り越えようとする皆さん。そして支えようとする皆さん。取材を通して、人が持つ力の大きさを実感し、何度も心を打たれました▶今回の座談会もその一つ。対談者が発する一つ一つの言葉から大きな力を感じました▶いろんなものを乗り越えて迎えた平成24年。今年が皆さんにとって良い年になることを心からお祈りします。(八重桜)



大澤 虹こ ちゃん(5歳)
大澤重城さん、恵さんの長女と次女(寺里)

あず 空珠 ちゃん(2歳)
大澤重城さん、恵さんの長女と次女(寺里)



未就学の子どもの写真を募集します。写真と子どもの氏名などを添えて、広報くじ担当(☎02-2116)に郵送ください。写真はお返しします。